



# 通信 Jan.

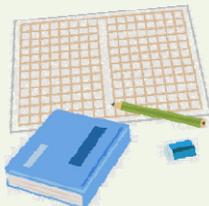


新年を迎えました。今年は「イノシシ年」です。「猪突猛進」、あまり「がむしゃらに進む」でも困りますが、エネルギーに頑張りましょう。  
 個々港学舎 舎長 八木貴子

## 学習状況のお知らせ

年の初め、心新たに目標を立て学習しましょう。冬期の講習で培った集中力、学習習慣を継続しさらにレベルアップしてください。

学年の締めくくりです。試験の前には授業の前倒しをして効果的に学習を！塾では授業日程の変更もあるので、次回授業日を確認してから帰宅してください。



## いろはに偉人裏話「さ」

「さ」坂本龍馬は土佐藩に生まれ、脱藩した後は志士として活動しましたが、大政奉還の1か月後に近江屋事件で暗殺されました。享年33歳。

◆当時、土佐藩士は長刀をさすことが流行していました。あるとき龍馬の旧友、檜垣清治と再会した時、龍馬は短めの刀を差していました。そのことを指摘したところ「実戦では短い刀のほうが取り回しがよい」と言われ納得した檜垣は短い刀



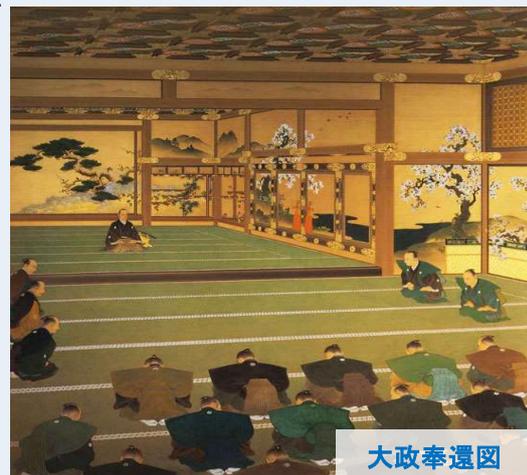
を差すようにしました。次に再会したとき、龍馬は懐から拳銃を出し「銃の前には刀なんて役にたたない」と言われました。納得した檜垣はさっそく拳銃を買い求めましたが、三度再会したとき、龍馬は万国公法(国際法)の洋書を取り出し「これからは世界を知らなければならぬ」といわれました。もはや檜垣はついていけないと思いました。

そんな坂本龍馬を評して、西郷隆盛は、「世の中にしっかりと志しをもった男は沢山居る。そして私はそんな連中と数多く付き合ってきた。しかし、これほど度量の大きい男は龍馬をおいて未だ会ったことがない。龍馬の度量がどれほどかは計ることができません」と言ったそうです。



◆この頃、薩摩藩と長州藩は犬猿の仲でした。討幕のためには薩摩藩、長州藩の協力が必要と考えた坂本龍馬は、二藩を仲良くさせるために貿易会社を作りました。これが亀山社中(後の海援隊)です。亀山社中は薩摩藩から武器を買い入れ長州藩に売り、長州藩から米を買い薩摩藩に売り、両者win-winとなり、次第に好感情を抱くようになりました。その結果、坂本龍馬の説得により、薩長同盟が結ばれました。これに土佐藩、肥前藩を加え、討幕運動の中心勢力になりました。

◆2017年、高大連携歴史教育研究会が、大学入試で歴史の細かい用語が出題され、高校の授業が暗記中心になっているのは問題だとして用語の精選案を発表しました。知識を入試で問う用語を現在の3500語程度から約半分にすべきだとしています。色々な意見はあると思いますが、歴史の変化に大きな働きがあった坂本龍馬も削除の対象となっているのは、残念な気がします。



大政奉還図

## 旬！ブロッコリーのレシピ

ブロッコリーはアブラナ科の緑黄色野菜。花を食用とするキャベツの一種がイタリアで品種改良されたものです。栄養成分として、ビタミンB、ビタミンC、カロテンや鉄を豊富に含みます。また、スルフォラファンを含み、がん予防効果が期待されます。1年中手に入りますが、今が旬で、国産で新鮮なものが並んでいます。



### 「ブロッコリーとウインナーのバター炒め」

ボリュームがあり、栄養のバランスの良い一品です。冷めても美味しいので、お弁当のおかずにも最適です。ブロッコリーを茹ですぎないのがコツです。

ブロッコリー:1株(250g)、シメジ:1袋、ウインナー:125g×2袋、バター:10g、サラダ油:大1、塩、コショウ:適量 4人分

①こだわりの茹で方:ブロッコリーの房は一口大に切り分ける。茎は皮をむき、食べやすい大きさに、2~3mmの厚さに切る。1ℓのお湯に塩小1/2を溶かし、ブロッコリーの茎、しばらくして房を入れる。この時に房の茎はお湯の中に沈めるようにする。再沸騰したら1分間茹でて、ざるに上げ粗熱を取る。②シメジは石づきを取り、子房に分ける。ウインナーは5mmの斜め切りにする。③フライパンにサラダ油、バターを熱し材料を炒める。④塩、コショウをして、火が通ったら出来上がり。ウインナーの塩味があるので塩は控えめに。



1月6日八木家メニュー